

# 第4回 長野県総合計画審議会 資料

平成29年(2017年)6月12日

企画振興部総合政策課

# 本日(6月12日)の論点

論点1 現状認識について (P2 ~ P7)

論点2 重点政策の方向性について (P8 ~ P13)

論点3 基本目標について (P14 ~ P15)

## 論点1 現状認識について

- これまでの議論を踏まえ、政策立案に当たって認識すべき項目として、  
「長野県を取り巻く状況」及び「長野県の特長」  
を整理（P3～P7）
- これらについて、追加・修正すべきことはあるか。

# 【現状認識：長野県を取り巻く状況①】

## 1 世界規模の動き

### ○ 世界の結びつきの緊密化

- ・個人や地域が世界と直接繋がる
- ・世界の人口増加や食料需要の変化などの動きが、長野県の経済・社会に影響

### ○ 技術革新の急速な進展

- ・AI、IoT、ロボット等が急速に進歩する「第4次産業革命」
- ・AIやロボットに代替されない人間固有の能力が重要

### ○ 経済・社会・環境の持続可能性への気運の高まり

- ・国連で採択されたSDGsは先進国・途上国を問わない共通の目標

# 【現状認識：長野県を取り巻く状況②】

## 2 日本国内の動き

### ○ 急激な人口減少と東京圏への人口流出

- ・労働力や地域社会の担い手の減少、需要の減退
- ・東京圏への人口の一極集中の一方で、田園回帰の動きも見られる

### ○ 低成長経済の長期化

- ・経済的な豊かさに重きを置かないライフスタイルへの転換

### ○ 貧困・格差の拡大

- ・ひとり親、若年世帯における貧困世帯の増加
- ・次の世代への貧困の連鎖の懸念

## 【現状認識：長野県を取り巻く状況③】

### 2 日本国内の動き(続き)

#### ○ 人生100年時代へ

- ・人生100年時代を見据えた暮らし、学び、働きの変革が不可避

#### ○ 広域交通ネットワークの整備

- ・高速交通網の拡大により県境を越えた取組が増加

#### ○ 東京オリンピック・パラリンピックの開催

- ・訪日外国人の増加、海外との交流拡大

# 【現状認識：長野県の特長①】

## 1 豊かな自然環境

- 県土の8割を占める森林、清浄な水や空気
- 南北に長く、地域ごとに多様な気候

## 2 大都市圏へのアクセスの良さ

- 首都圏と中京圏の両方から200km圏内
- 高速交通網の整備による時間距離短縮
- 移住したい県ナンバーワン

## 3 多様な個性を持つ地域

- 多極分散した都市と周囲の農山村が近接
- 盆地や谷ごとに独自の文化を継承

## 【現状認識：長野県の特長②】

### 4 トップレベルの健康長寿

- 国内でも最高水準の長寿県
- 健康で、年齢を重ねても活躍している

### 5 自主自立の県民性

- 公民館など身近に学びの環境がある
- 技術力のある中小製造業の集積、付加価値の高い農作物への転換
- 地域の誇りや絆と自助共助



## 論点2 重点政策の方向性について

- これまでの議論を踏まえ、10年後、20年後を見据え、重点的に取り組む政策の方向性のコンセプトを整理（P9～P13）
- そこで、次期総合計画を、  
県民が10年後、20年後の夢を持てるもの  
長野県の特徴・独自性が出るもの  
総花的ではないもの（的を絞り、尖らせる）  
とするため、
  - ①「重点政策の方向性」及び「想定される政策（例）」として、追加・修正すべきことはあるか。
  - ②「想定される政策（例）」を実現するための目玉となる具体的な取組について、アイデアをいただきたい。

## 【重点政策の方向性①】

### 1 産業の生産性向上、世界とのつながり

《想定される政策(例)》

- ・異分野連携による新産業創出の促進
- ・信州の食の満足度向上
- ・稼ぐ観光地域づくり
- ・イノベーションを生む人材の育成・誘致
- ・研究機関・研究開発型企業の誘致
- ・アジア圏との経済連携

## 【重点政策の方向性②】

### 2 新たなライフスタイルの実現

《想定される政策(例)》

- ・「スマート」「クリエイティブ」なまち・むらづくり
- ・高速交通・情報通信ネットワークの充実
- ・地域が必要とする人材の移住・滞在の促進
- ・文化芸術・スポーツによる地域活力の向上
- ・環境・社会・地域経済に配慮する消費行動の促進

## 【重点政策の方向性③】

### 3 誰にでも居場所と出番がある

《想定される政策(例)》

- 子どもの未来応援(子育ての孤立化防止、就学・進学支援)
- 女性の輝きを応援
- 人生100年時代を見据えた働き方の実現
- 個人の違いや個性を尊重し、自立・社会参加を応援

## 【重点政策の方向性④】

### 4 人と自然の「いのち」を守る

《想定される政策(例)》

- ・災害への対応力強化
- ・生きることへの包括的支援
- ・信州ACE(エース)プロジェクトの新展開
- ・脱炭素社会の構築
- ・木と森の文化の創造

## 【重点政策の方向性⑤】

### 5 学びの県

《想定される政策(例)》

- ・生きる力を身に付ける教育の充実
- ・个性的な学校誘致など多様な学びの場づくり
- ・地域の発展に貢献する学校づくり
- ・生涯学び続けられる環境づくり

### 6 地域の個性が輝く

⇒ 地域編（地域振興局ごとに策定）

## 論点3 基本目標について

- 現行の5か年計画「しあわせ信州創造プラン」及び地方創生のための「信州創生戦略」を踏まえ、次期計画の目指す姿を

“確かな暮らし”と“人生を楽しむ”

というコンセプトを基本に今後検討していきたい。

- このことについて、ご意見を伺いたい。

(参考)

## しあわせ信州創造プラン（長野県総合5か年計画）[H25～H29]

### 【基本目標】

確かな暮らしが営まれる美しい信州

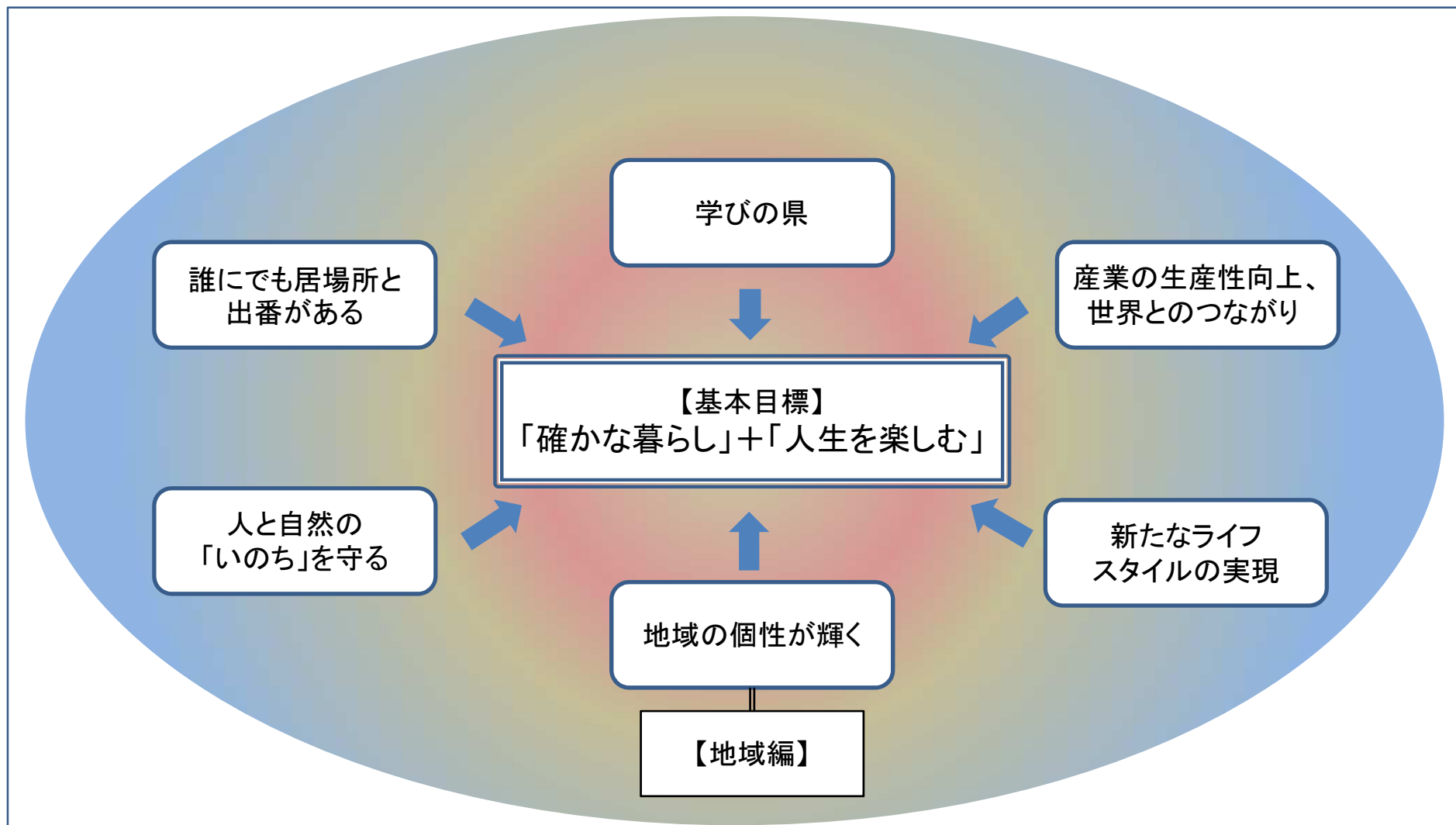
## 信州創生戦略（人口定着・確かな暮らし実現総合戦略）[H27～H31]

### 【基本方針】

- 1 人生を楽しむことができる多様な働き方・暮らし方の創造
- 2 若者のライフデザインの希望実現
- 3 活力と循環の信州経済の創出
- 4 信州創生を担う人材の確保・育成
- 5 賑わいある快適な健康長寿のまち・むらづくり
- 6 大都市・海外との未来志向の連携



# 次期総合5か年計画の構成(概念図)(案)



## 【現状認識】

- ・長野県を取り巻く状況
- ・長野県の特長

## 【基本的視点】

- ・SDGs※を踏まえ「経済、社会、環境」の側面を包摂的に解決
  - ・一歩先を行く、未然に防ぐ、共生・協働、地域・現場重視、垣根を越えてつながる 等
- ※2015年に国連で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に盛り込まれた17の目標等

## 【計画の進め方】

- ・県行政の最適化
- ・市町村との協働
- ・県民参加
- ・PDCAサイクル 等